



株式会社アドバンスト・メディア

平成30年3月期 決算説明会資料

2018年5月10日



見通しに関する注意事項



- 本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。
- その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。



1. 業績の概況

取締役 経営管理本部長
立松 克己



1-1. 連結損益計算書



単位：百万円

	平成30年3月期		平成29年3月期		対前年増減		主な要因
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	3,683	100.0%	2,581	100.0%	1,102	42.7%	ほぼ全ての部門で前期増し、特にCTI事業部、グラモが増収を牽引
原価	1,026	27.9%	918	35.6%	108	11.8%	大型のライセンス収入があり、原価率は計画より低減
売上総利益	2,656	72.1%	1,662	64.4%	994	59.8%	大型のライセンス収入があり、粗利益率は計画より向上
販売管理費	2,008	54.5%	1,740	67.4%	268	15.4%	ほぼ当初計画通り
営業利益	647	17.6%	△77	-3.0%	742	-	売上高の伸長、粗利益率の向上から黒字化を実現
経常利益	610	16.6%	△118	-4.6%	733	-	営業外利益の計上、為替差損の計上
親会社に帰属する当期純利益	522	14.2%	△103	-4.0%	604	-	

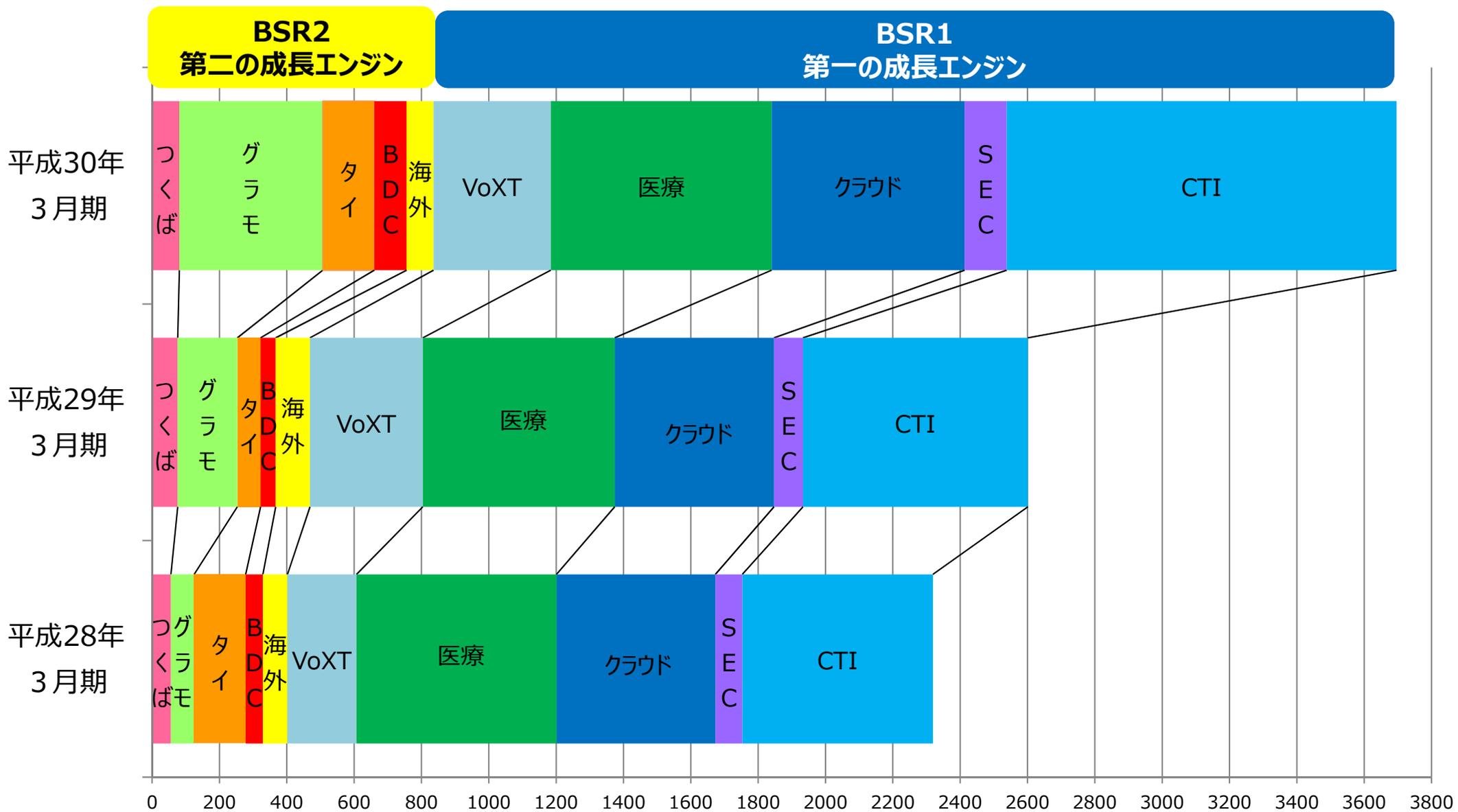
1-2. 分野別の売上実績①



単位：百万円

		平成30年3月期		平成29年3月期		対前年増減		
						金額	比率	
第一の成長 エンジン	CTI事業部	1,158	31.4%	668	25.9%	490	73.4%	
	SEC事業部	125	3.4%	86	3.3%	39	45.3%	
	クラウド事業部	573	15.6%	473	18.3%	100	21.1%	
	医療事業部	656	17.8%	570	22.1%	86	15.1%	
	VoXT事業部	348	9.4%	335	13.0%	13	3.9%	
第二の成長 エンジン	海外事業部	80	2.2%	102	4.0%	-22	-21.6%	
	ビジネス開発センター	96	2.6%	45	1.7%	51	113.3%	
	連結子会社	AMIVOICE THAI	153	4.2%	69	2.7%	84	121.7%
		グラモ	426	11.6%	177	6.9%	249	140.7%
		速記センターつくば	81	2.2%	76	2.9%	5	6.6%
	連結調整	-26	-0.7%	-28	-1.1%	-2	-	
合計		3,683	100.0%	2,581	100.0%	1,102	42.7%	

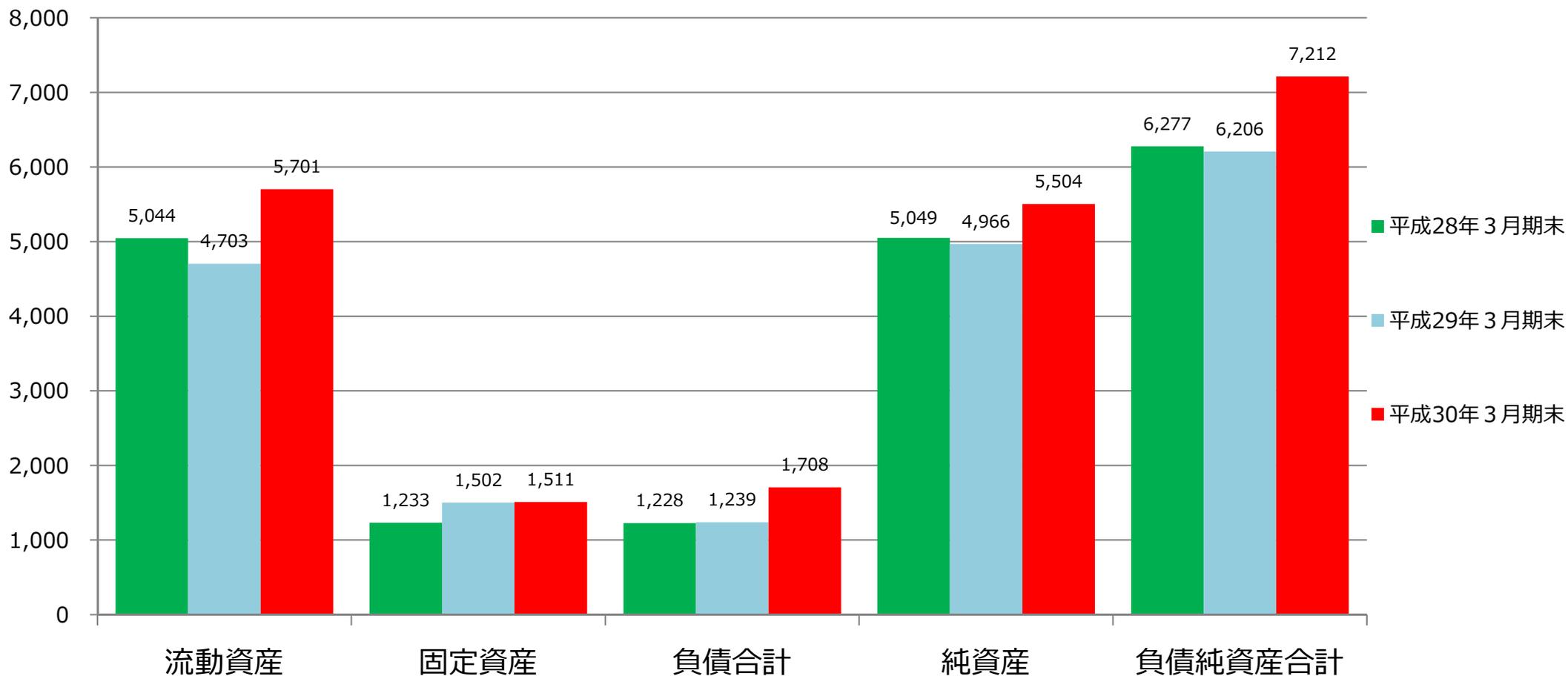
1-3. 分野別の売上実績②



1-4. 連結貸借対照表



単位：百万円



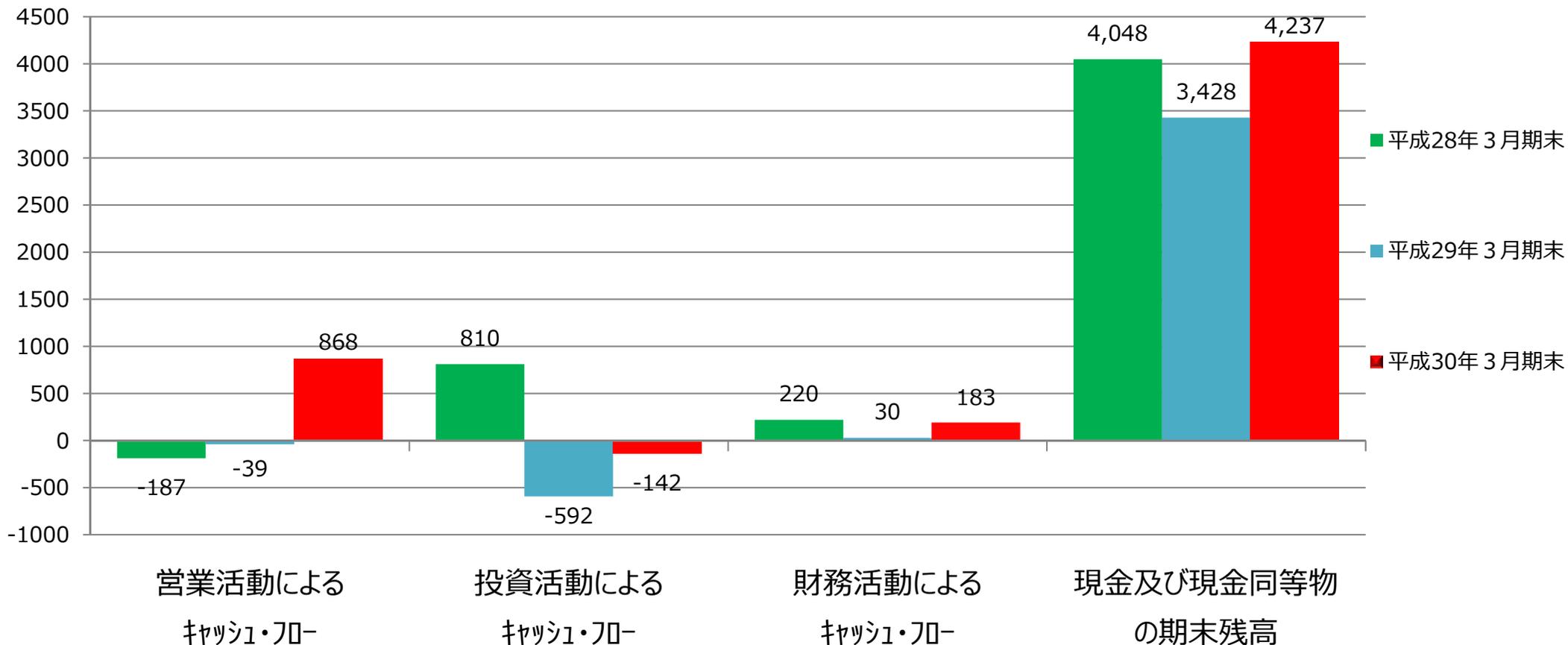
増減の要因

- 流動資産：現金および預金の増加
- 負債合計：短期・長期借入金の増加（グラモの借り入れ）

1-5. キャッシュフロー計算書



単位：百万円



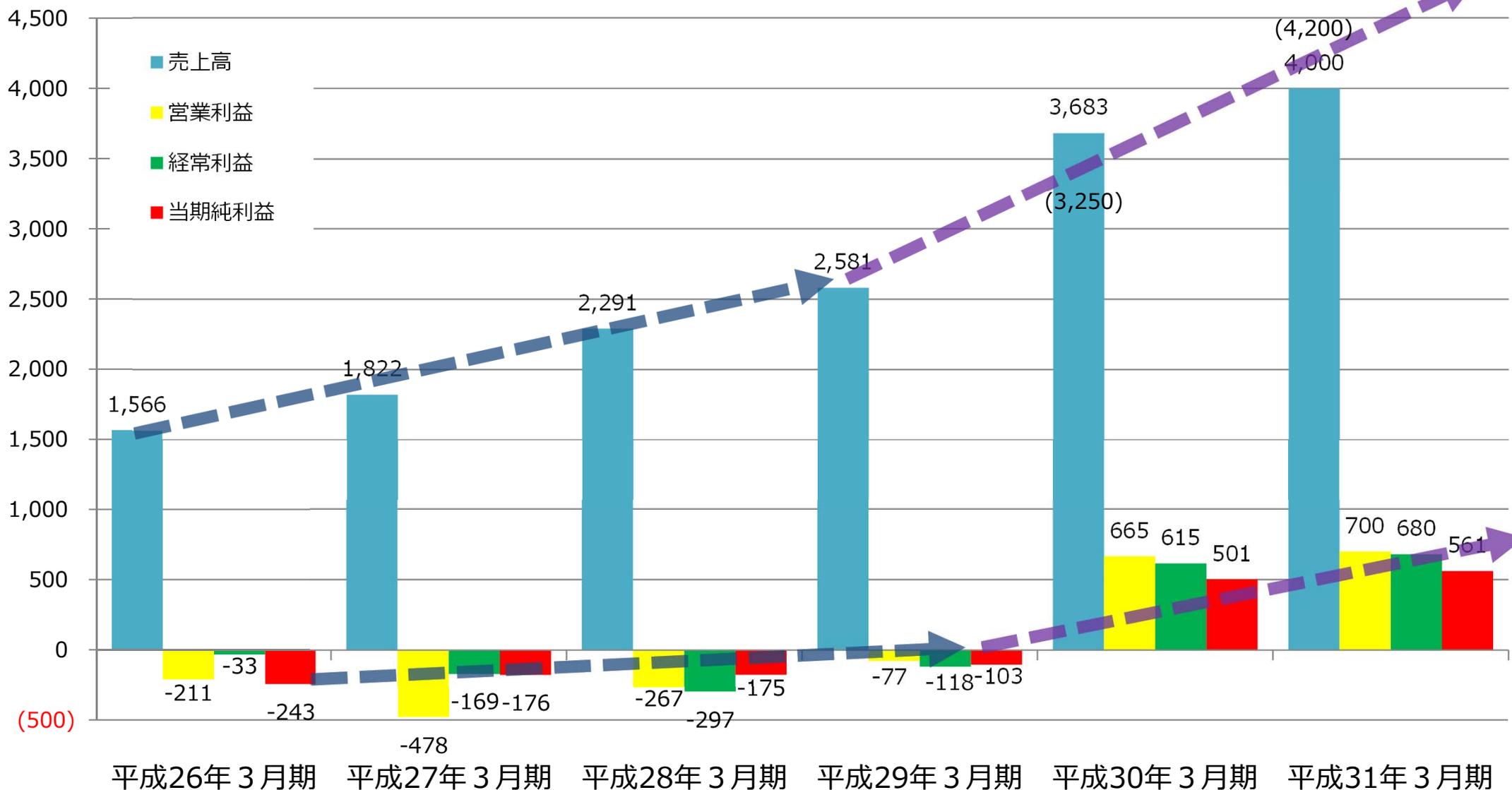
増減の要因

- 営業活動：当期純利益の計上
- 投資活動：前期に投資有価証券の取得による支出を計上、定期預金の払戻の収入
- 財務活動：借入れによる収入（グラモ）

1-6. 業績の推移および今期計画



単位：百万円



(業績予想)



2. 事業展開の概要

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸



2-1. 「AI音声認識」と「音声AI」



ありがとうございますを込めて



昨日のありえないを、明日のあたりまえに。

AmiVoice®

AmiAgent®

20年間の成長の証、
『AI音声認識』と『音声AI』により
日本の音声認識市場を
飛躍的に成長させるときを迎えました。

2-2. 事業拡大の取り組み実績

(BSR1) 第一の成長エンジン

成長エンジン

1

CTI事業／医療事業／VoXT事業
クラウド事業／SEC事業

売上高

2,860百万円
前期比 34.1%増

営業
利益

前期比8.8倍の
大幅な増収

(BSR2) 第二の成長エンジン

成長エンジン

2

ビジネス開発センター／海外事業
AMIVOICE THAI／グラモ／速記センターつくば

売上高

836百万円
前期比 78.3%増

営業
利益

赤字幅を大幅に
縮小

当社グループ全体での営業利益の黒字化を実現し、
増収・増益のスタートを切ることができた

2-3. 切り拓いてきた音声認識市場



※2018年3月現在

自治体・民間 累計237施設

- 議会・一般会議議事録作成
- 講義、講演、インタビュー録作成
- クラウド文字起こしサービス

5,980施設(19,014ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート
- 電子カルテ向け音声入力
 - ・病院
 - ・診療所
 - ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成

214社(3,309ライセンス)

- ハンズフリー・アイズフリー操作
- ボイスピッキング・棚卸・入庫（在庫）確認
- データ入出力、記録
- 作業報告、点検、結果入力



218社(22,050ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
 - ・オペレータ能力UP
 - ・リアルタイムモニタリング
 - ・通話録音の検索と見える化

36社

- コンシューマ向けクラウドサービス
- コンシューマスタンドアロンアプリ
- 対話エージェントAmiAgent

360社

- 法人向け営業日報入力
- 法人向けクラウドサービス
- 接客・対面会話の見える化ソリューション
- 音声認識開発キット (SDK)

99社(3,849ライセンス)

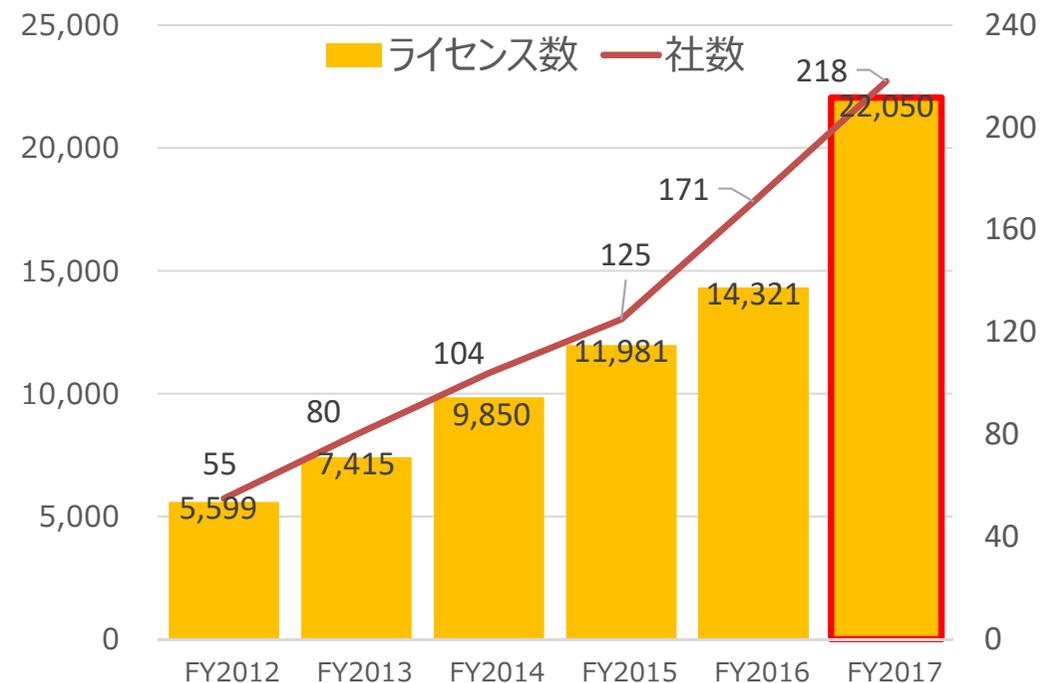
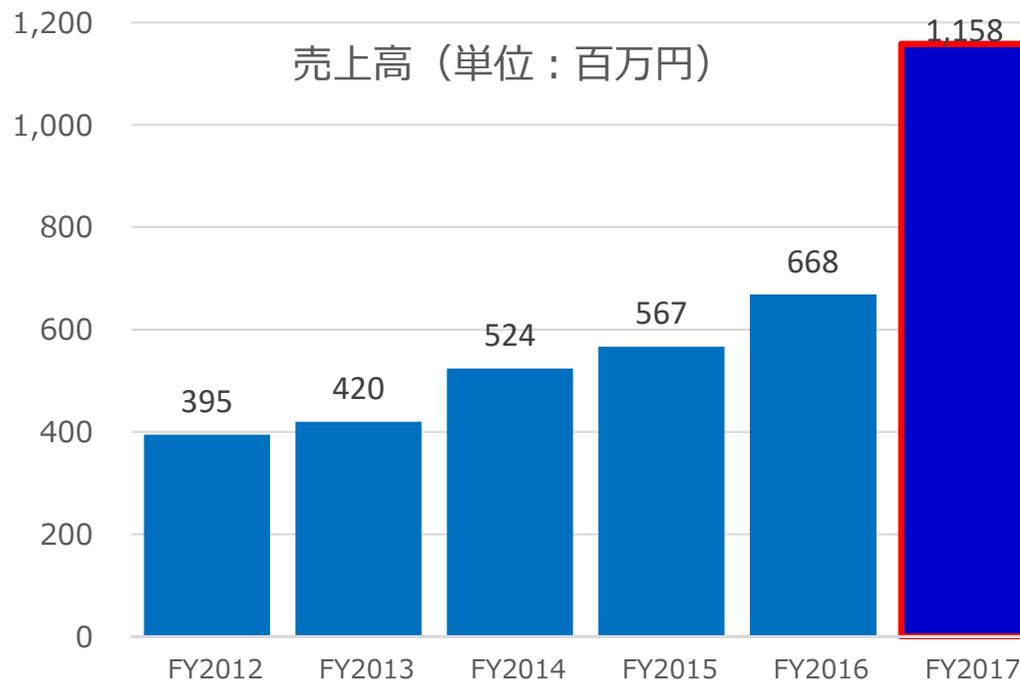
- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理

2-4. CTI事業部 (BSR1)

- コールセンター業界において、AIや音声認識技術を活用するニーズが顕在化し、当社の今までの実績が評価され、導入件数の増加、案件の大型化が進んだ結果、収益性の高いライセンスの売上が大幅に伸びる
- 前期比73.4%増と大幅に増収するとともに、収益面でも粗利益率が向上したため大幅に増益し、当社グループ全体の業績を牽引

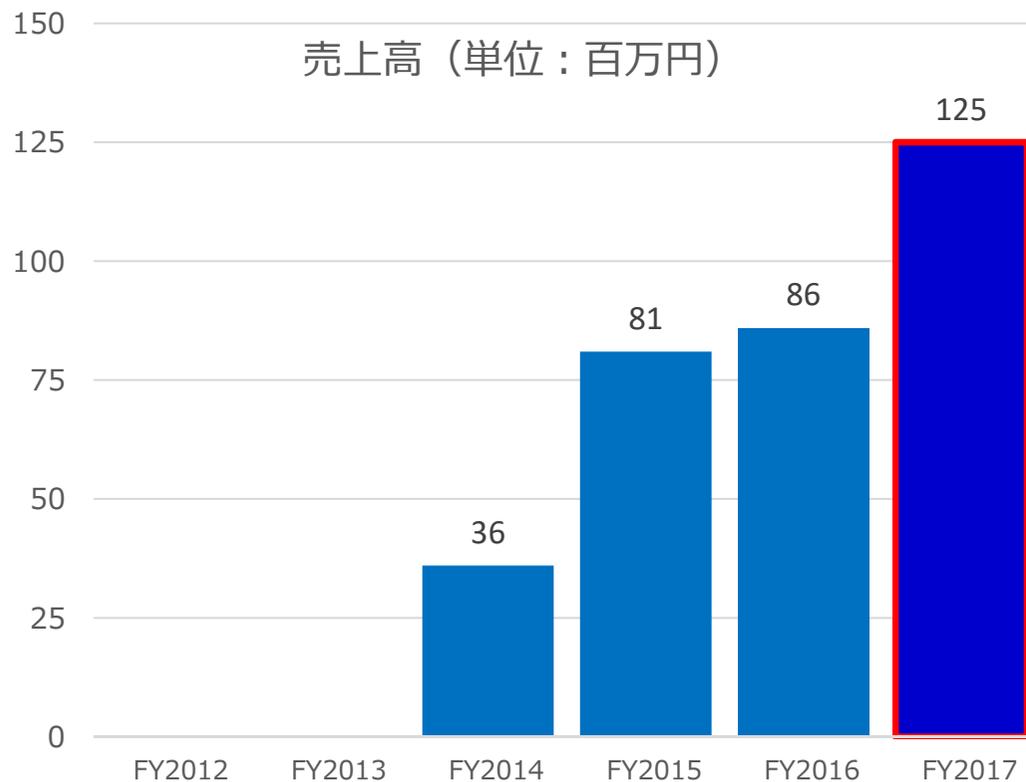
◆ TOPICS

- 三井住友カード、イオンフィナンシャルサービスの子会社エー・シー・エス債権管理回収等の金融機関での採用が進む
- SCSKとのパートナー契約を締結するなど、パートナー連携が進む



2-5. SEC事業部 (BSR 1)

- 「音声AI」(音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術: AmiAgent®) を中心とした、音声対話の新たな市場を創造
- 株式会社レオパレス21、株式会社明治産業、日本瓦斯株式会社、株式会社DeNAトラベル等に導入(導入検証)が進み、前期比45.3%増と増収



◆ TOPICS

- レオパレス21の『バーチャルデスク』AI対話ソリューション「AmiAgent®」が採用される。AI(人工知能)店員が物件検索をサポート。

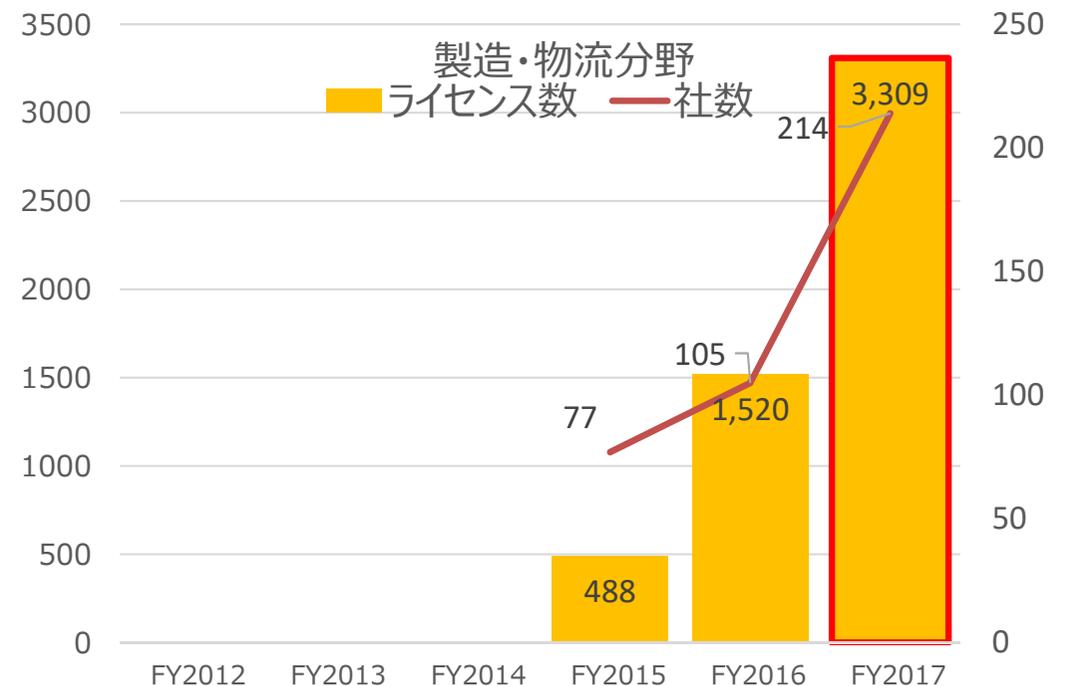
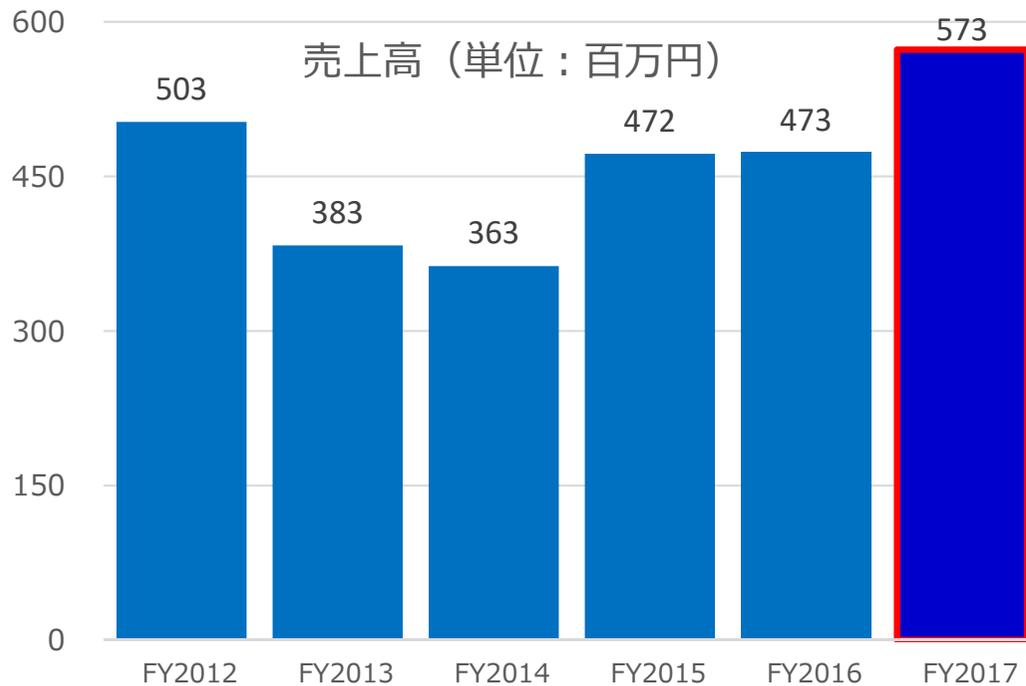


2-6. クラウド事業部 (BSR 1)

- 「AI音声認識」や「音声AI」の利用が進む中で、音声認識・音声対話に特化した当社独自のウェアラブルマイク端末「AmiVoice® Front WT01」の販売が伸びる
- 様々な分野における音声入力の需要が増大し、特に製造・物流分野でのウェアラブル型ボイスピッキングシステム「AmiVoice® iPicking」の販売が堅調に進み、前期比21.1%増

◆ TOPICS

- スマートフォンの文字入力を声で行うiOS版 音声入力キーボードアプリ「AmiVoice® SBx」をリリース
- 話すだけで簡単にメモが記録できる 音声入力メモアプリ「AmiVoice® iVoX Personal」、多言語音声翻訳アプリ「AmiVoice® TransGuide」の無料体験版をリリース

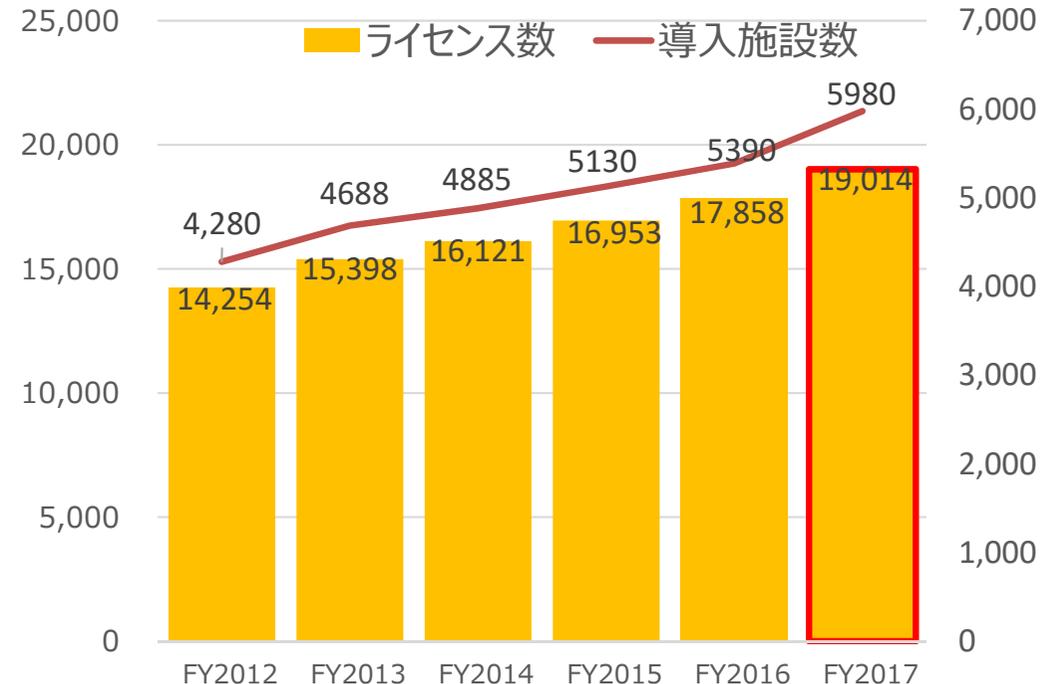
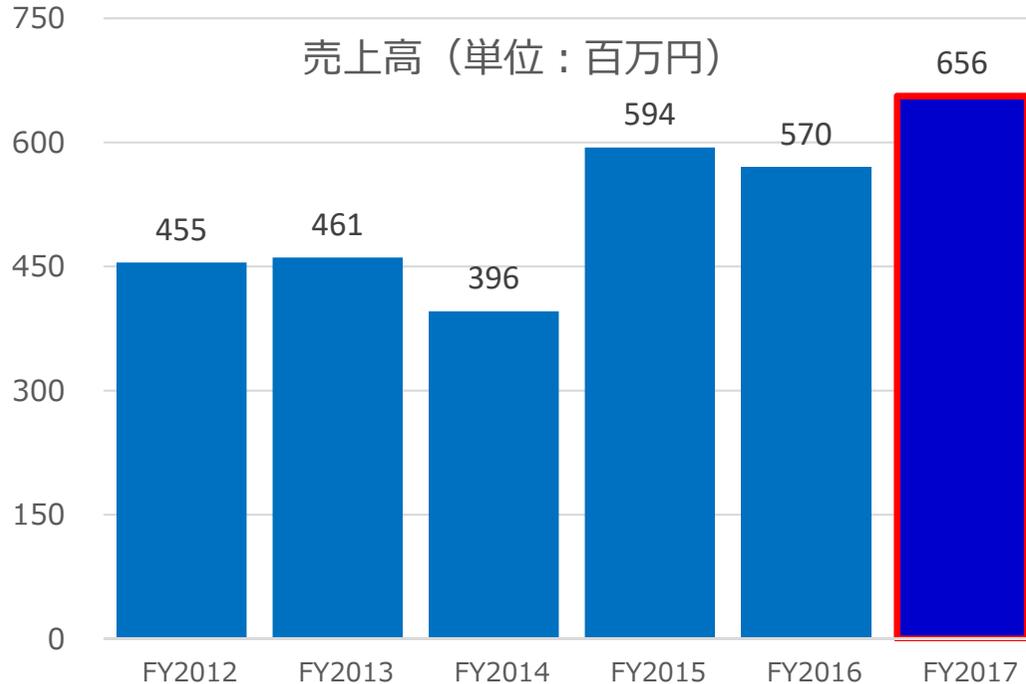


2-7. 医療事業部 (BSR 1)

- 医療業界向けの製品ラインナップの拡充と既存製品の拡販を推進
- 調剤薬局向け製品が堅調に推移し、前期比15.1%増

◆ TOPICS

- クラウド型音声入力モバイルサービス「AmiVoice® MLx」の販売を開始
- スマートフォンに話すだけで簡単に録音、記録の作成・管理・共有が可能になるクラウド型音声入力管理サービス「AmiVoice® iVoX Medical」の販売を開始

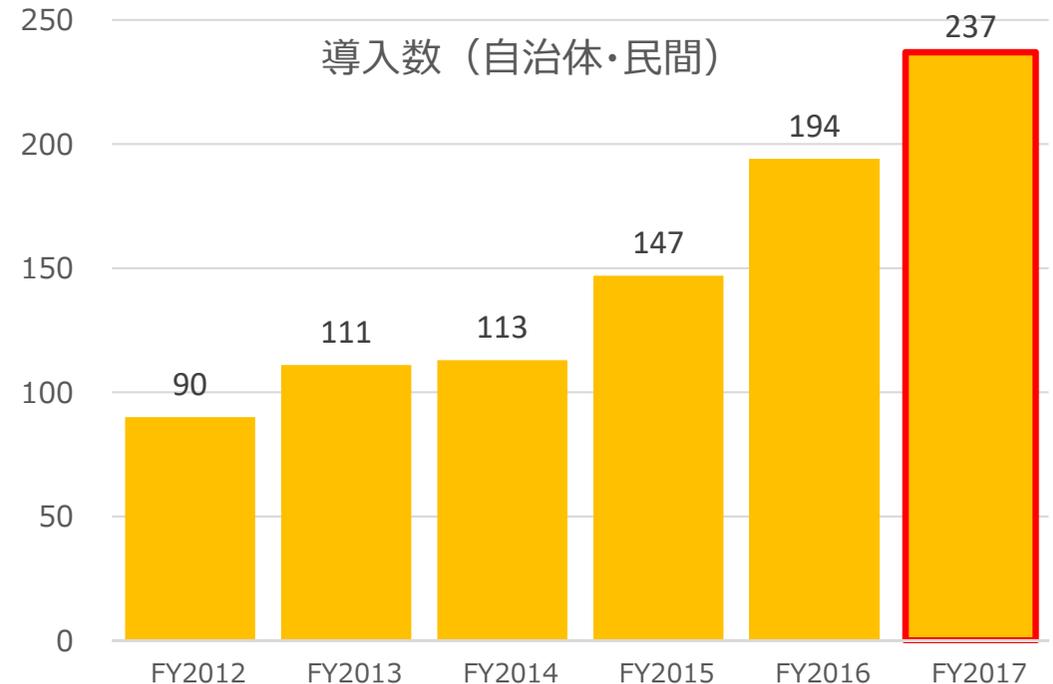
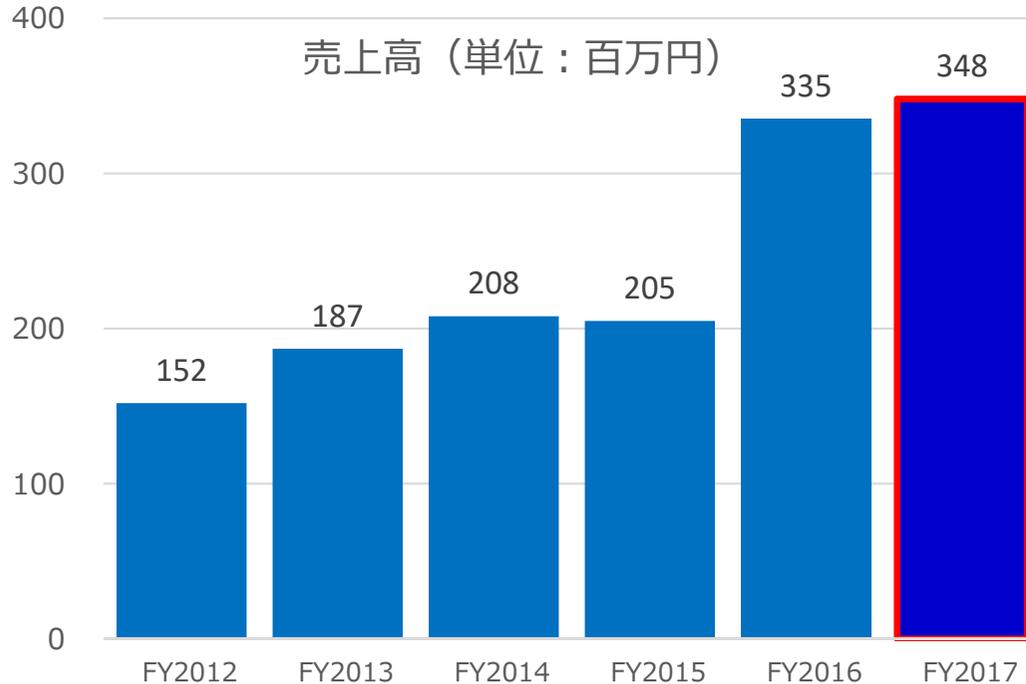


2-8. VoXT事業部 (BSR 1)

- 音声認識技術AmiVoice®を活用した議事録作成支援システム、廉価版の「AmiVoice® SpeechWriter」やクラウド型文字起こしサービス (VoXT) などの利用料サービスが、大手民間企業や報道機関向けに採用が進み、前期比3.9%増

◆ TOPICS

- 明治安田生命、りそな銀行等の大手民間企業で採用
- 日本放送協会、朝日放送、日本テレビなどで、報道局向け音声文字化システムが採用



2-9. BSR 2 ①

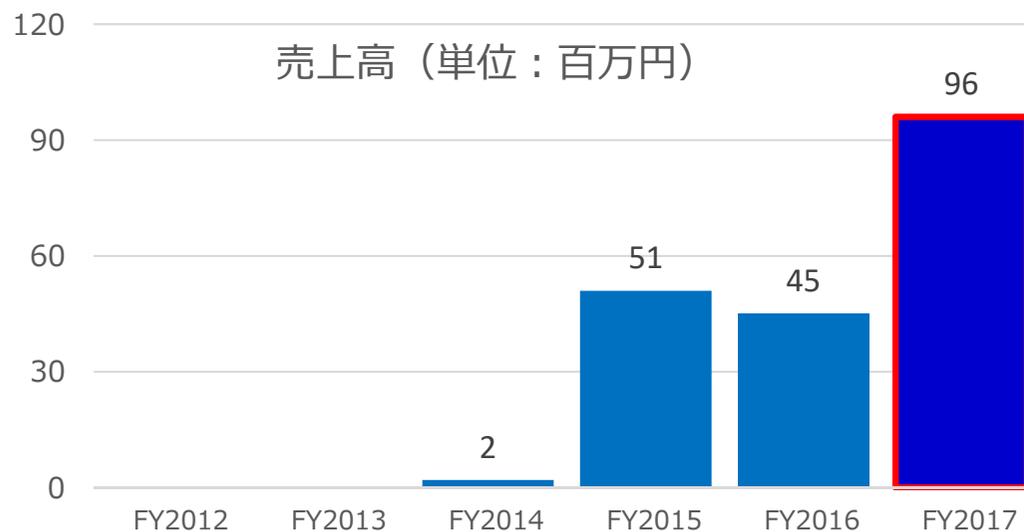


ビジネス開発センター

- 建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム」のユーザー数を堅調に増やし、前期比113.3%増と大幅に増収

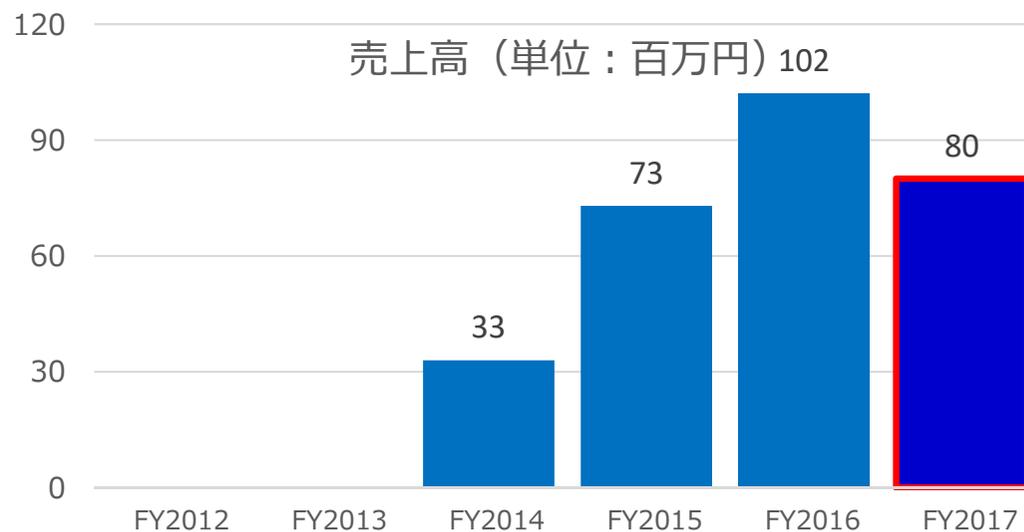
◆ TOPICS

- 建築工程管理のプラットフォームサービスに音声認識とAI(人工知能)を活用することで、仕上げ検査の施工協力会社を自動選定する新機能「SIP AI」を搭載



海外事業部

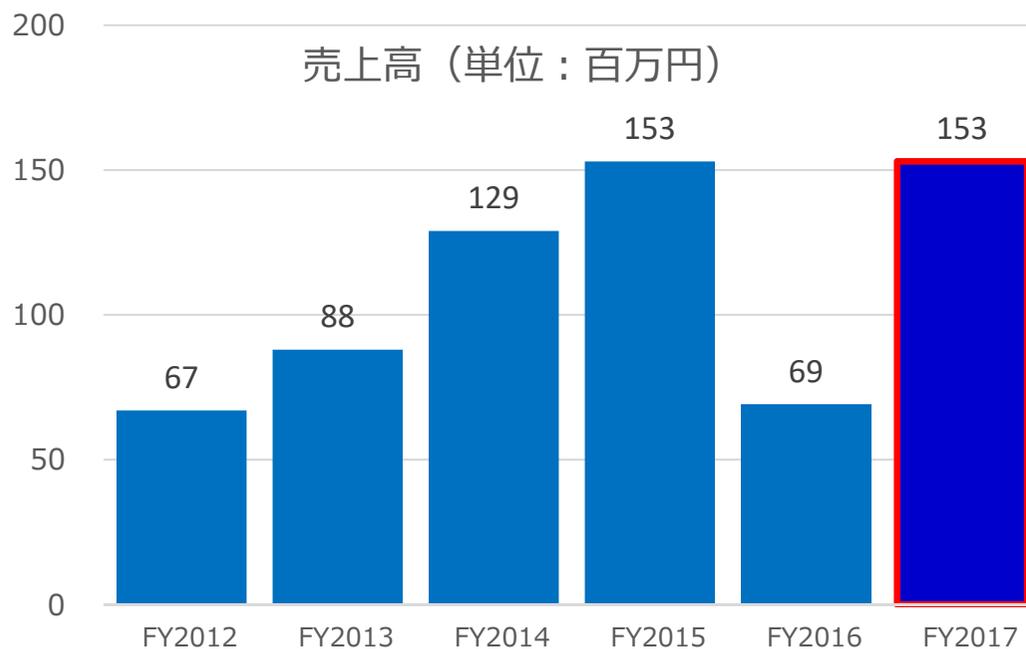
- 既存顧客の拡張案件の獲得や、中国における新規顧客獲得に向けたパートナー戦略を推進したものの想定していた事業拡大ができず、パートナー戦略の再構築を進めた結果、前期比で減収



2-10. BSR 2 ②

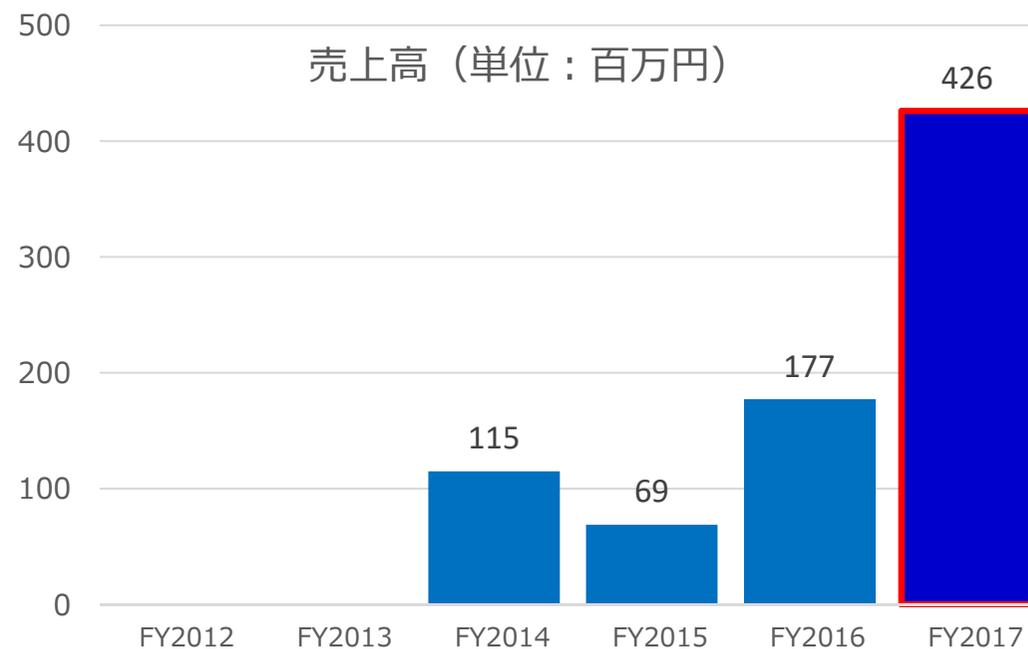
連結子会社 (AMIVOICE THAI)

- 既存顧客の拡張案件および新規顧客の受注獲得等を進め、前期比121.7%増と大幅に増収



連結子会社 (グラモ)

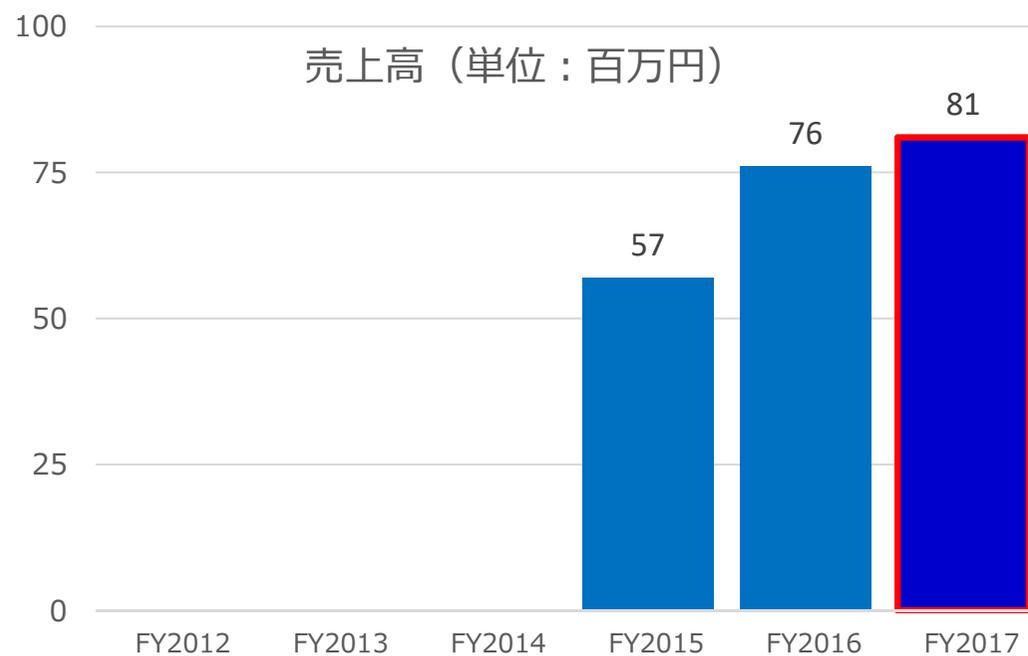
- 株式会社レオパレス21向けに、スマートフォンによる家電制御機器『Leo Remocon』や、スマートロック製品『Leo Lock』の納入が堅調に進む
- パネルメーカーなど大口顧客へのiRemoconの販売と拡販が堅調に進む
- 前期比140.7%増と大幅に増収



2-11. BSR 2 ③

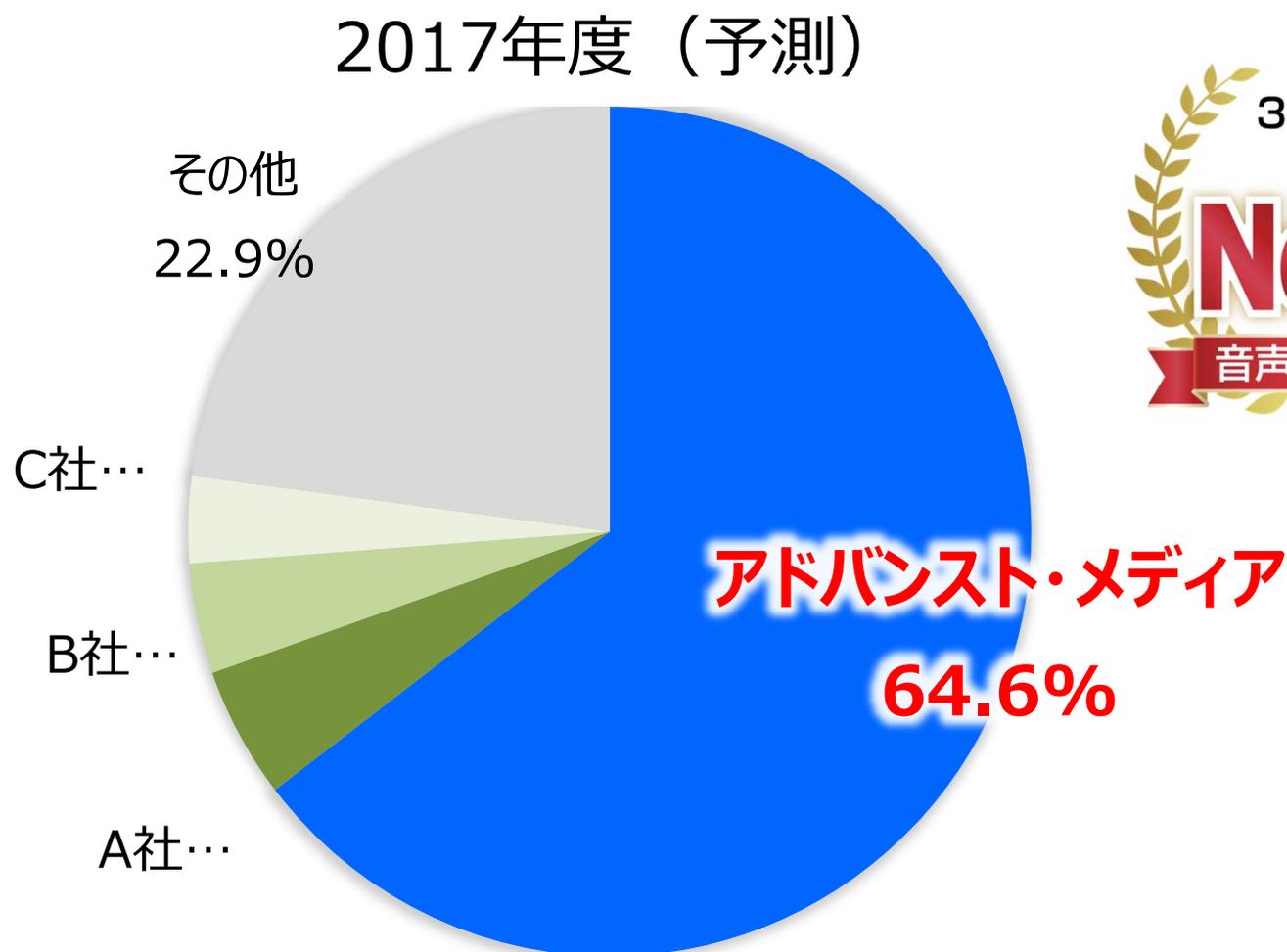
連結子会社（つくば）

- ▶ 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進め、前期比6.6%増



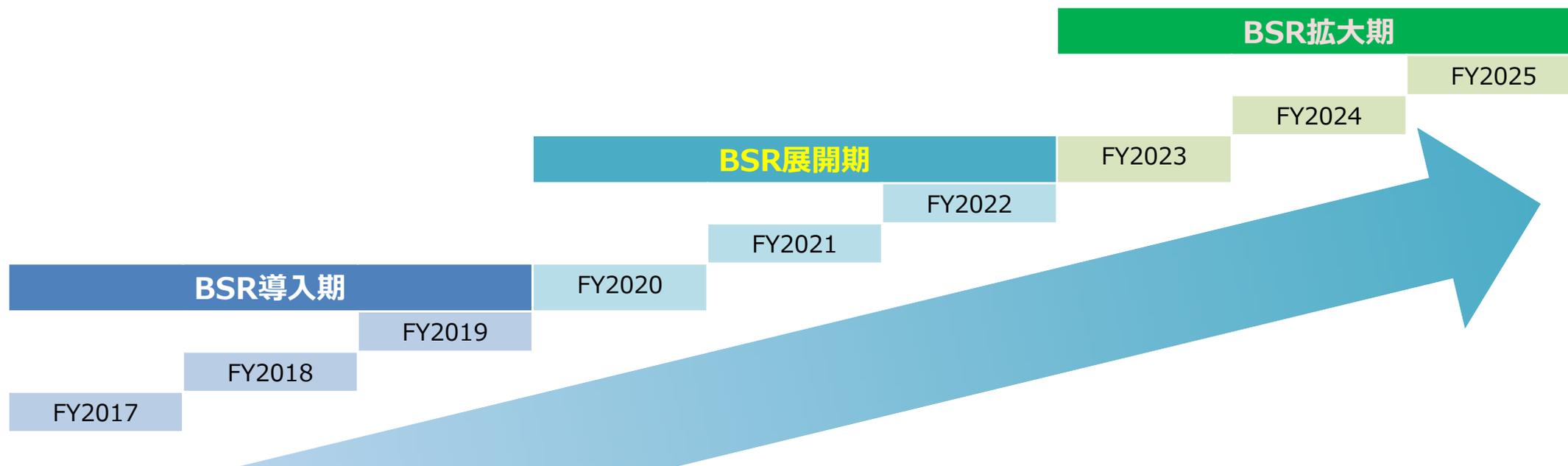
2-12. 音声認識市場のシェア

音声認識市場：ベンダー別売り上げ金額シェア



出典：ITR「ITR Market View：AI/RPA市場2017」

2-13. 今後の見通し



BSR 1
「既存コアビジネスによる成長事業」

BSR 2
「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」

+

AI（人工知能）と
HI（人援知能）による
BSRの進化で
増収増益を継続させる

BSR3x3により売上高8倍、営業利益率30%を目指す

2-14. 平成31年3月期連結業績予想



売上高4,000百万円、営業利益700百万円^{注)}

注) 計画値は補足資料をご覧ください。

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	4,000	700	680	561	35.22円
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	3,683	647	610	522	32.79円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

補足資料

☆ 営業利益8億円を超える活動を目標とする

- ・ 11億円が可能と見ており最低は7億円

- 売上について

 - 49億円が可能と見ており最低は40億円

- 単体の間接コストについて

 - 「AI音声認識」と「音声AI」の強化投資を増大させるが、
前期比2億円増に抑える

BSR 3x3 による売上と利益の増大



単位：百万円

